

20046

カテーテル検査・治療前の処置内容の統一を目指して

¹群馬県済生会前橋病院

山崎 光世¹、小林 理恵¹、細瀬 節子¹

【目的】当院は心臓カテーテル検査・治療（以下心カテ）の介助を病棟業務の一環としている。平成27年度は人事異動や入職が重なり当科の経験が浅いスタッフや心カテの介助に携わっていないスタッフが増加し、前処置が統一できていないとの意見が聞かれた。そこで前処置の統一化を図るため、マニュアルの作成を検討した。

【方法】前処置の方法を具体的に記載したマニュアルを作成。2か月間マニュアルを使用し使用後に自由記述でのアンケート調査を実施。記述データをカテゴリー化し分析・評価した。

【結果】タイムスケジュール、末梢ライン準備、剃毛範囲、安静度の4項目から「正確に説明・準備ができていないことがわかった」「安心して業務ができる」「スタッフ間で統一した説明ができる」「正確な説明・処置がわかる」「処置の不備が減る」にカテゴリー化した。

【結論】処置方法の裏づけや視覚的にわかりやすい内容を記載したマニュアルを使用したことで心カテの前処置を正確におこなうことに一定の効果があつた。また前処置の不備が減ることは心カテ介助の業務改善に繋がる。心カテ介助に携わらないスタッフは不安を感じながら業務をしている現状がある。心カテへの理解を深め、不安が軽減できるよう心カテ介助の見学や勉強会の機会を設けていく。今回は心カテの前処置方法のみを対象としたため、心カテ後も統一した対応ができるようなマニュアルの作成を検討していく。